

事例紹介（イオン）：2020年～「AIカカク」の導入

AIが過去の販売実績や環境条件を学習し、商品の割引時に、適切な価格を提示。
食品ロス削減・割引率改善を目指す。

- 対象商品：デリカ（お惣菜）、デイリー（パン、デザート等）
- 導入店舗：イオンリテール全店で運用中（約350店舗）

店舗での課題



- 各店で客数予測を行っていても、「作りすぎ」や「欠品」は日々発生
- 割引率の判断は、当日の売れ行きを見ながら、従業員の「熟練度（経験や勘）」に影響される

「AIカカク」のしくみ、効果

①商品バーコードをスキャン



②個数入力



③適切な割引率の提示、割引シール印刷



- 値引率・廃棄率の改善
- 適量製造
- 割引業務の作業軽減